

# 韮山反射炉

1. 目指すべき景観像

## 伊豆半島の産業文化と自然が織りなす 歴史のまち 韮山反射炉



①日本における近代化の歴史を物語る韮山反射炉



②地域の生活と韮山反射炉、自然とが共存した景観

2. 地域特性と景観形成の方向性

韮山反射炉は、「日本における近代化の歴史を物語る韮山反射炉」と「地域の生活と韮山反射炉、自然とが共存した景観」の2つの側面があるため、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

### ① 日本における近代化の歴史を物語る韮山反射炉

#### (1) 韮山反射炉



#### 明治日本の製鉄技術の伝播を物語る物証

韮山反射炉は銑鉄を溶かし、良質な鉄の製造や大砲を鋳造するための施設で、1857年（安政4年）から1864年（明治元年）まで使用されました。平成27年に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の一つとして世界文化遺産に登録されました。

世界文化遺産登録の直後は観光客が急増し、案内ガイド等の不足が課題となっていました。現在では来訪者数はやや落ち着きを見せており、改めて来訪者の満足度、滞在の充実度を上げる取組みが必要です。

#### (2) 総合整備事業



#### おもてなし空間の整備

総合整備事業によりガイダンス施設（H28.12 オープン）、駐車場、隣接する公園・遊歩道等の整備が完了し、周辺環境が大きく改善されました。しかし、同時にガイダンス施設を含めた各施設への動線の変更、地域住民への情報提供などが必要です。

#### (3) 地域の取組み



#### ボランティアガイド、周辺資源の活用

韮山反射炉や江川邸、蛭ヶ島公園等では、関係団体によるボランティアガイドや、花の手入れが行われています。地元ガイドならではの隠れた眺望スポットや見どころなどの紹介を通じ、地域の魅力の発信を行っています。また、観光周遊型の循環バスの運行による周辺資源活用にも取り組んでいます。しかし、各施設への来訪者は、短時間の滞在が多くなっているため、韮山反射炉だけでなく市内に点在する史跡や観光資源も併せて楽しんでほしい、市内での滞在時間を延ばす工夫が必要です。

#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・ 韮山反射炉ガイダンス施設への案内や施設概要の周知等の充実
- ・ 韮山反射炉へ通じるアクセス空間の建築物、構造物の景観配慮

## ② 地域の生活と韮山反射炉、自然とが共存した景観

## (1) 茶畑、農地、山林



## 韮山反射炉と富士山、ダブル世界遺産を望む眺望地

韮山反射炉の南側に広がる茶畑には展望台が設置されており、韮山反射炉と富士山のふたつの世界遺産を望むことのできる場所として、人気の眺望スポットになっています。

しかし、展望台への経路が分かりにくいことや、展望台周辺に休息できる場所がないため、経路の周知や休憩施設の整備などが必要です。

## (2) 親水空間



## 天然ホタルの棲む水辺

韮山反射炉の南側を流れる韮山古川は、関係団体の継続的な尽力により、美しい川の環境と、水辺の景観が維持されています。そのため、天然ホタルが棲息しており、初夏にはホタルまつりが行われています。

こうした水辺の親水空間やホタルの生息環境、周辺の茶畑や農地、山林の自然環境など、韮山反射炉周辺の資源の保全や維持管理、開発のコントロールが必要です。

## (3) 周辺地域



## 宅地と農地の共存する街並み

韮山反射炉周辺は元々農業地域となっており、現在でも韮山反射炉へ通じる県道沿いには農地や民家が点在しています。また、周辺には土産物屋や喫茶店といった店舗も立地しています。

そこで、韮山反射炉へのアクセス道路をおもてなしの空間として演出するため、地域住民の協力を得ながら民家や店舗の形態意匠を周囲の景観に配慮したものにいく必要があります。

## 〈景観形成の主な課題〉

- ・韮山反射炉と富士山を眺める眺望スポットへの案内の不足
- ・自然資源の保全



地域特性や景観づくりの方向性から、改めて目指すべき景観像と景観目標を整理します。

## 伊豆半島の産業文化と自然が織りなす 歴史のまち 韮山反射炉

### 目標1

日本の近代化の歴史に触れ、地域のシンボルとなる景観づくり



### 目標2

周辺環境と  
韮山反射炉が  
調和した景観づくり



### 景観づくり方針

- ① 日本の近代化の歴史を伝え、地域資源・情報発信拠点としての景観づくり
- ② 韮山反射炉へ続くおもてなしのアクセス道路づくり

### 景観づくり方針

- ① 周辺の自然環境や植生と韮山反射炉が一体的に感じられる景観づくり

対象エリアへの入口・アクセス部における景観形成

## 目標1 日本の近代化の歴史に触れ、地域のシンボルとなる景観づくり

### 方針1-① 日本の近代化の歴史を伝え、地域資源・情報発信拠点としての景観づくり

#### 取組み

短期

- 韮山反射炉ガイダンス施設への案内や施設概要の周知等の充実
- 韮山反射炉を含めた、市内の案内板の統一化、劣化した案内板の更新、即時的な多言語対応の整理
- 色彩や規模が目立つ屋外広告物の撤去、改善

#### 実施主体

- 市
- 市
- 市、事業者

中・長期

- 経路の周知や休憩施設等の必要設備の拡充
- 色彩や規模が目立つ工作物の撤去、改善
- 地域住民の手による景観形成イベント等の促進

- 市
- 市、地域住民
- 関係団体、地域住民

### 方針1-② 韮山反射炉へ続くおもてなしのアクセス道路づくり

#### 取組み

短期

- 側溝、案内板、落ち葉等の清掃やガードレール、電柱等の美化
- 韮山反射炉周辺施設における、増加した観光客に対応した動線、案内経路の確保や経路の案内表示
- 大型バスのアクセス道路のより効果的な周知

#### 実施主体

- 市、関係団体、事業者
- 市
- 市

中・長期

- 周辺の民家、店舗等の形態意匠の調和
- アクセス道路沿道の建物や農地の景観への配慮など、おもてなしの空間づくり

- 市、事業者、地域住民
- 地域住民

## 目標2 周辺環境と韮山反射炉が調和した景観づくり

### 方針2-① 周辺の自然環境や植生と韮山反射炉が一体的に感じられる景観づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 韮山反射炉への景観に配慮した樹木の剪定</li> <li>● ふたつの世界遺産（富士山と韮山反射炉）を望む眺望スポットの経路や梅林など、韮山反射炉以外の資源の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市、関係団体</li> <li>● 市、関係団体</li> </ul>
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 周辺の茶畑、農地、山林、水辺等の自然環境と一体的な保全・維持管理</li> <li>● ホテルの生息環境の保全・維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市、関係団体、地域住民</li> <li>● 市、関係団体、地域住民</li> </ul>

## 対象エリアの入口・アクセス部における景観形成

当該エリアの入口、あるいはアクセス道路となる箇所（区間）で実施する景観形成を以下に示します。

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 違反屋外広告物に対する是正措置（韮山反射炉周辺ゾーン）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市</li> </ul>

全体

- ・案内板の統一化、劣化した案内板の更新
- ・即時的な多言語対応の整理
- ・周辺施設の観光客に対応した動線、案内経路の確保、経路の案内表示
- ・地域住民の手による景観形成イベント等の促進



案内板の統一、多言語対応の整理

凡例 紫字：短期的な取組み  
 緑字：中・長期的な取組み

ガードレール、電柱等の美化化  
 周辺民家、店舗等の形態意匠の調和  
 沿道建物や農地のおもてなし空間づくり



ガードレール、電柱等の美化化  
 大型バスのアクセス道路の  
 効果的な周知  
 アクセスゾーン等の  
 違反広告物の是正措置

ガイダンス施設への案内や  
 施設概要の周知等の充実  
 経路の周知や休憩施設等の  
 必要設備の拡充



反射炉周辺

側溝、案内板、落ち葉等の清掃  
 目立つ広告物の撤去、改善  
 目立つ工作物の撤去、改善

景観に配慮した  
 樹木の剪定

韮山反射炉以外の資源の周知  
 茶畑、農地、山林、水辺等の  
 自然環境と一体的な保全・維持管理  
 ホタルの生息環境の保全・維持管理

ふたつの世界遺産を望む  
 眺望スポットの経路周知



ふたつの世界遺産を望む眺望スポット

